

生徒指導便り

令和2年 11月

先月よりだいぶ気温が下がってきました。朝夕には吐息が白くなることも多くなってきました。皆さん、体調を崩していないでしょうか。

10月30日(金)の地元視察研修はとても良い研修になりました。朝の人吉城跡仮設住宅でのフラワーボックス贈呈では住民の方にとっても喜んでいただきました。贈呈している私たちの方が**住民の方から勇気**をもらったような気がします。また、4グループに分かれてのフィールドワークでは貴重な話を聞くことができました。午後の人吉旅館でのボランティア活動、人吉旅館の**女将さんから感謝の言葉**が学校に届いています。この研修の成果を1月に予定されている水俣高校との交流会での発表に向けて、総合的な学習・探究の時間を使ってまとめていきましょう。

さて、今回は皆さんがブレザーを着用する時期になったので、改めて身なりや制服(ユニフォーム)についてふれたいと思います。就労している生徒もいるので働いている人にとってのユニフォームの必要性を調べてみました。「仕事のオン・オフの切り替え」、「ユニフォームが企業の看板」、「大切な仲間意識」など、意識的・心理的な側面と「安全面」、「快適性」、「機能面」、「衛生面」など、実務的な側面から必要だそうです。意識的・心理的な側面で例えると、自宅に配達に着てくれた人がユニフォームを着ているからこそ、安心して荷物を受け取ることができたり、コンセプトを大事にした飲食店やテーマパークの従業員では着ているユニフォームがその雰囲気にあったものであったらお客様の満足度も向上するそうです。

話は変わりますが「**メラビアンの法則**」というものを知っていますか。これは米国の心理学者のアルバート・メラビアンが行った研究で、出会ったときの最初の数秒でその人の第一印象が決まるということが分かりました。そして、この第一印象は一度形成されてしまつとその後はなかなか払拭することが難しく、第一印象が悪印象を与えてしまうと、その人との関係性を作ることが難しくなってしまうそうです。この研究の中では、初対面の人について、言語、視覚、聴覚で矛盾した情報が与えられたとき、どの要素が優先しているかを調べた結果、「**視覚が55%**、**聴覚が38%**、**言語が7%**」になったそうです。

地元視察研修で地域の皆さんと交流をして分かったように**私達は地元の皆さんから支えられて生活**をしています。人定のユニフォーム(制服)を着て登下校や学校生活している**皆さんが人定の看板**です。そして、就職・進学の間接も含め、これから先、皆さんはいつ・どこで自分の人生に大きな影響を与えてくれる人と出会うか分かりません。**大事な人に良い印象**を持ってもらえるように日頃から制服の着方や身だしなみに気をつけていきましょう。

●注意・連絡事項●

- ・就労を希望する生徒はできるだけ早くに担任に相談してください。遅くとも就労開始予定の**1週間前**には申し出てください。